

# Sociology

教授科目名	社会学	担当講師名	中田周作
対象学生	平成 25 年度 1 学年	単位	1 単位 30 時間
授業目標	<p>本講義では、社会学の方法によって家族を理解するための枠組みを学習する。現代社会における家族の姿は、多元化する価値意識のもとで、その形態や機能が多様化している。こうした現代社会の家族を、より深く理解するためには、家族を認識するための社会的な枠組みを活用すると有効である。そして、地域社会の中に存する様々な家族を、社会的な枠組みのもとで理解し、在宅看護やボランティア等の実践活動に実際に資することができる知識や分析の視角を身につけることを目標とする。そのため、本講義では家族の中核をなす夫婦関係に焦点をあて、家族編成に関する社会的規則について講義する。</p>		
授業計画	回	単元	単元目標と内容
	1	オリエンテーション	社会学および家族社会学の概要説明
	2	家族をどうとらえるのか	家族社会学における「家族」の定義
	3-4	家族分析の手がかり	家族を対象とした社会的アプローチの方法 類型と分類
	5	青年期の異性交際	異性交際の社会的意味の考察
	6		異性交際の実態
	7	配偶者の選択	家族編成の社会的ルールとは何か
	8		配偶者選択の社会的メカニズム
	9		配偶者選択のプロセス
	10	結婚の意味	結婚の社会的意味を考察する
	11	結婚の機能	結婚の社会的機能を考察する
	12	離婚、その後	離婚の社会的意味と機能を考察する
	13	家族の新しい形	シングルマザーをテーマとしたビデオを視聴 家族の形について考える
	14	子どもの養育	里親制度についてビデオ視聴 里子のリアリティーを感じる
	15	最終テスト	課題の作成
教科書	森岡清美・望月嵩 共著『新しい家族社会学』培風館		
参考書	講義の進行にあわせて適宜紹介する		
授業の 進め方	1-12 回は講義形式。13-14 回はビデオ視聴。15 回は試験。		
評価の方法	最終テスト（レポート形式）に、出席状況、毎回作成するコメントペーパー、受講態度等を加味し、総合的に判定する。		
メッセージ	人間の行為を対象とする学問に興味を持ってもらえれば良いと思います。		